

松林山の会  
2017年7月山行報告

霞沢岳 (2645.84m)、徳本峠から島々谷林道を歩く。

- ・日時 : 2017年7月17日(月), 18(火), 19(水) 2泊3日
- ・集合場所 : 北茅ヶ崎 5時55分
- ・参加者 : 八野(L), 大滝, 塚本, 野田

<往路>

北茅ヶ崎 ——— 八王子 ——— 松本 ——— 新島々  
6:06 7:20/7:29 (スーパーあずさ 1号) 9:39/10:10 (松本電鉄) 10:40

(バス) 島々 ——— 上高地  
10:55 12:00

<コース>

<1日目>

上高地バスターミナル ——— 明神 ——— 徳本峠小屋 (2,140m)  
12:20 13:10 15:30

<2日目>

徳本峠小屋 ——— ジャンクポイント (2428m) ——— P2 ——— K1 (2,567m)  
6:25 7:35 (JP) 8:35 10:25

— K2 (霞沢岳) ——— K1 ——— P2 ——— JP ——— 徳本峠小屋  
11:10 11:30/12:10 13:40 14:45 15:40

<3日目>

徳本峠小屋 ——— カ水 ——— 岩魚留小屋 ——— 離水岩  
6:20 7:00 9:10 10:15

— 二俣 ——— 島々、徳本峠入口 ——— せせらぎの湯  
11:40/12:25 14:10/14:30 (タクシー) 14:40

<復路>

せせらぎの湯 — 松本 ——— 八王子 ——— 橋本 ——— 北茅ヶ崎  
15:40 (タクシー) 16:20/17:18 (スーパーあずさ 30号) 19:33/19:46 19:59/20:03 21:11

(費用) (交通費) JR乗車券 北茅ヶ崎 ↔ 松本 4,000 × 2 = 8,000円

〃 特急券 八王子 ↔ 松本 2,680 + 2,160 = 4,840

松本電鉄・バス 松本 → 新島々 上高地 2,450

タクシー 島々宿 → せせらぎの湯 → 松本 1,800 交通費計 17,090円

(宿泊費等) 徳本峠小屋 1泊2食 + 弁当一食 20,000

(1,000円)

<費用合計> 37,090円

※ タクシー { 島々宿 → せせらぎの湯 1,200円  
せせらぎの湯 → 松本 6,000

## 《山行記》

(1日目) 7月17日(月) くもり

特急あずさ号は、八王子でほぼ満席。松本から電鉄・バスを乗継ぎ、上高地に到着。夏休み前とはいえ、河童橋のあたりは、さすがに賑わっている。

明神まで約1時間、少し先の分岐を白沢沿いに徳本峠に向う。梓川沿いの眩騒かうそのような静かな林道が続く。1時間程行き沢を渡る木橋を過ぎると、傾斜が強くなり、ダケカンバとコマツガの樹林の中の急登を進む。やがて霞沢岳への道を右に分けると、緩やかな道になり、ほどなく徳本峠に着いた。

(2日目) 7月18日(火) あめのみくもり

夜半から、すごい雨音が屋根をたたく。朝方やっと小降りになる。陶くと2日続きの夜の豪雨だったようだ。朝食を終える頃には、殆んど止んだが、安全の為、合羽を着てスタート。小屋前から緩やかに上り始めるが、すぐに急登となる。標高差300m位を一気に上ってしまうとジャンクションピーク。アップダウンをくり返しなから、ぬかるんだ悪路を進み、池のような湿地帯の横を抜け、ニッコウキスゲのお花畑を通り過ぎる。ここからがこのコースの難関。小石混りの急登や岩塊の険しい道が容赦なく立ちばだかる。苦闘の末、K1(2,567m)へ。

風が強く霧が深い。期待してきた穂高連峰の展望は全くない。

ピークを目ざし、もう少し進むが、K2のあたりで視界ゼロ。あと15分位の所にあるはずの目指す霞沢岳は全く見えない。ここで先に進むのを断念。

K1に戻り、昼食をとり、下山にかゝる。

小屋の主人の「行きも帰りも同じような時間がかかるよ」との言葉どおり、試練は続いた。

(3日目) 7月19日(水) はれ

小屋前から穂高連峰がよく見える。

今日は、近代登山黎明期に槍・穂高への入・下山路として、盛んに利用された徳本峠〜島々のむかし道を下山する。あのウェストンも歩いたという。

島々の集落まで長い長い下りが始まる。ダケカンバとクマザサの斜面をジグザグに下る。カ水で冷たい水を補給し、さらにドンドン高度を下げる。島々谷川の本流を木橋、丸太橋などで数回渡り返し、支流を何回か徒渉しながら下り始めて3時間近く、カツラの巨木がある岩魚留小屋につく。古きよき時代が偲ばれるたたずまいだ。

さらに2時間余り、豪快な沢の流れに目をやり、音を聞きながら下る。そろそろウンザリしてきた。

途中、「島々谷で命を落した、飛騨の領主三木秀綱の奥方の石碑」や「昔の炭焼釜の跡」を見ながら進む。やがて堰堤が現われ、二俣につく。軽い昼食をとり、再び歩き始める。同じ景色の林道が6kmも続く。

標高差1,400mも下りてきた。もういい……

やっとの思いで島々宿についた。途中、4人の登山者とすれちがったがこの道は上りには使いたくないと思った。

せせらぎの湯で汗を流し、帰途についた。合計20時間以上歩きました。皆さん本当におつかれさまでした。これまでにない試練の山行だったかも